

## 2020 年度

## 授業概要

科目名	義肢装具研究法Ⅰ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科1年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
義肢装具及び関連領域に関する研究を行うにあたり、身体機能の測定及び評価方法を中心に学ぶ。								
〔授業全体の内容の概要〕								
講義・・・計測機器の概要説明、取り扱い説明。グループワーク・・・計測、データ解析、プレゼンテーション								
〔講師の実務経験〕								
1991年4月から2012年7月 川村義肢株式会社（大阪府）にて義肢装具の採型適合業務に従事。2012年10月から2014年3月 有限会社 永野義肢（大阪府）にて義肢装具の採型適合業務に従事する。								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
運動及び動作等の客観的評価方法を身につける。特に卒業研究に必要な計測機器の使用方法などを習得する。								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション・講義（力の合成と分解、）生体におけるテコ）							
2	計測機器DEMO（バイコン）							
3	計測機器DEMO（ゼプリス・Fscan）							
4	講義（歩行の観察 OGIGの方法）							
5	演習グループによる歩行分析①							
6	演習グループによる歩行分析②							
7	講義（重心の求め方、）重心の速度・加速度）							
8	演習グループによる歩行分析③							
9	演習グループによる歩行分析④							
10	講義（床反力と重心加速度、床反力作用点（COP）とは何か）							
11	演習グループによる歩行分析⑤							
12	演習グループによる歩行分析⑥							
13	講義（関節モーメントと筋活動、関節モーメントのパワー）							
14	演習グループによる歩行分析⑦							
15	演習グループによる歩行分析⑧							
16	演習グループによる歩行分析⑨							
17	演習グループによる歩行分析⑨							
18	演習グループによる歩行分析⑨							
19	演習グループによる歩行分析⑨							
20	演習グループによる歩行分析⑨							
21	演習グループによる歩行分析⑨							
22	演習グループによる歩行分析⑨							
23	演習グループによる歩行分析⑨							

科目名	義肢装具研究法 I			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科1年	後期	必修・選択	必修
回数	講義内容							
24	演習歩行分析プレゼン							
25	装具を利用した計測機器の説明①							
26	装具を利用した計測機器の説明②							
27	装具を利用した計測機器の説明③							
28	装具を利用した計測機器の説明④							
29	装具を利用した計測機器の説明⑤							
30	装具を利用した計測機器の説明⑥							

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社

## 【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

課題評価の合計点により認定する。（グループワークによる課題発表＋個人課題計測解析レポート）
---